

ウトナイ湖通信



No.245

2024年10月号

夏の間、北で過ごしたガン類、ハクチョウ類、カモ類などの水鳥が、越冬地に南下する途中、中継地のウトナイ湖に飛来します。群れの中をよく観察してみるとハクガンなども見られるかもしれません。

ウトナイ湖は、周囲約9km、面積約275ha、平均水深約0.6mの淡水湖です。鳥類はこれまでに約270種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。

10月のイベント情報

お気軽ガイドウォーク in ウトナイ湖

10月13日(日)10:30~11:30

レンジャーや当センターのボランティアが40分程、屋外でウトナイ湖の自然を案内します。

※荒天時は館内ガイドウォークに変更します。

●定員:10名程度 ●申込:不要。直接当センターへ。

●対象:どなたでも(小学生以下保護者同伴)

森のコロボックル工作 DAY

※数量限定品あり

11月2日(土)①10:00~12:00 ②13:00~15:00

鹿の角を利用したアクセサリやアイロンビーズなどを自由に工作できるスペースをご用意しています。

●対象:どなたでも(小学生以下保護者同伴)

●申込:不要。実施時間中に随時受付。

ウトナイ湖・秋の渡り鳥 DAY

10月20日(日)

①講演会「ガン類の今 渡りでつながる宮島沼とウトナイ湖」

●時間:10:00~12:00

●講師:宮島沼・水鳥湿地センター 牛山 克己 氏

●定員:事前申込先着40名、当日先着20名

●対象:どなたでも(小学生以下保護者同伴)

②はじめての水辺の渡り鳥観察会

●時間:14:00~15:30 ●定員:事前申込先着20名

●対象:どなたでも(小学生以下保護者同伴)

③マガンのカウント体験コーナー&「ガンカモって何?」展示コーナー

●時間:開館時間中に館内展示室で開催

●定員・申込:なし。直接会場へ ●対象:どなたでも

※①②の申込:10/1(火)~10/19(土)に電話で当センターへ



市民ギャラリー

「写真展 苫小牧の自然」

会期:10月6日(日)~10月27日(日)

展示:北海道苫小牧総合経済高等学校 写真部



10月中『3施設合同スタンプラリー』開催。
詳細は当センターSNSをご覧ください。

◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆ TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苫小牧市植苗156-26 / 道の駅となり

開館時間:午前9時~午後5時 / 入館無料

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター

検索

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ラムートくん



~ ウトナイ湖 ~

・国指定鳥獣保護区特別保護地区
・ラムサール条約湿地
・東アジア・オーストラリア地域
・フライウェイ・パートナーシップ

当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。



オオセグロカモメ

体重 1020g

右翼の上腕骨が骨折
(今回、保護の原因となった外傷)



右足の先端が欠損
(過去の外傷)

原因：人工物の衝突疑い

9月6日

市内にある会社周辺で、数日前から姿は確認されていたが、この日保護され、当センターへ搬送される。



右翼に外傷を認め、レントゲン検査を実施したところ、上腕骨に骨折を認めた。
また、右足の先端が欠損していたが、過去の外傷であることが考えられた。

9月7日

死 亡

餌を与えるも、衰弱が著しく、自発採餌できず。回復することもなく、翌日死亡。

オオセグロカモメ (チドリ目 カモメ科)

全長64cm。翼開長150cm。雌雄同色。

一年を通じ、北海道で観察することができます。海岸や河川下流部、沿岸湖沼などで生息しています。魚などの海辺の動物や、その死骸などを食べ、「海岸の掃除屋」の役割を担うと言われています。

トピックス



ボランティアフォローアップ研修 自然観察会や野外調査の安全管理

ボランティア向けに野外での安全管理についての研修を行ないました。ガイド中に予測される事故や、危険生物について知識を深めました。ウルシ類は身近にあるため、観察会の参加者が触らないように注意を促したい等の声が上がりました。



動物を知ろう・触れよう・深めよう

9月8日、胆振動物愛護フェスティバルにブース出展として参加しました。当センターの紹介パネルの他に、終生飼養中の6羽や羽根、骨格標本を展示し、多くの来場者の方に傷病鳥獣救護や野鳥について知っていただきました。



ボランティアコーナー

当センターはボランティアの皆さんに支えられています。

2024年度上半期（4～9月）は14名のボランティアの皆さんにご協力いただき、イベント、観察会、調査などの活動を24回、研修会を2回行ないました。



ウトナイ湖 お楽しみコーナー

【ウトナイ湖・クイズ】

木の実がなる季節。ウトナイ湖の自然観察路で野鳥や昆虫に人気があるものの、毒性があるのは次のうちどれでしょう？

※答えは最後のページにあります。



① ズミ



② チョウセンゴミシ



③ マユミ

公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



Instagram



facebook

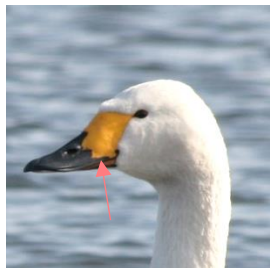


X(旧 Twitter)





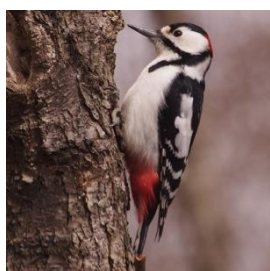
【オオハクチョウ】
全長140cm。くちばしの
黄色い部分が広く、先端
が黒い部分に食い込む。
ウトナイ湖で越冬する個
体もいる。



【コハクチョウ】
全長120cm。くちばしの黄色い部分が狭く、先端は黒い部分に食い込まない。ウトナイ湖より南の越冬地に渡る。



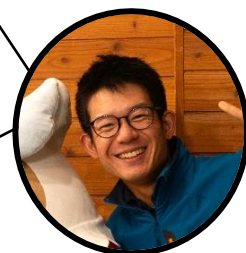
【コゲラ】
全長15cm。日本産キツツキでは最小。耳を澄ませると木を突く「コツコツ」という小さな音が聞こえることがある。



【アカゲラ】
全長24cm。「キョッ、キョッ」と鳴きながら木から木へと移動している姿を見かける。

レンジャーのおすすめ自然情報

ウトナイ湖の10月は秋本番。最低気温が一桁まで冷えることも増えてきて、越冬地に向かう水鳥で湖が賑わう季節です。湖面にはハクチョウ類の姿を見ることができます。また木々が葉を落とし始めるので、キツツキ類など森林性の鳥も観察しやすくなってきます。湖を見ればハクチョウ類、森を見れば紅葉とキツツキ類と自然観察がとても楽しい季節です。短い秋を楽しみましょう。



ウトナイ湖で自然観察を楽しもう♪

最新自然情報や、自然観察路マップはこちらから



Instagram



facebook



X(旧 Twitter)

自然観察路ガイドマップ【秋】

